

平成26年9月26日

株式会社中国銀行
米州開発銀行

中国銀行が「EYE（教育・若年層支援・雇用支援）ボンド」を購入

当行では、米州開発銀行が新規に発行する「EYE（教育・若年層支援・雇用支援）ボンド」（以下、「EYE ボンド」といいます）を購入しましたので、その概要についてお知らせいたします。
なお、EYE ボンドの購入は日本の銀行では初の取組みです。

1. 購入概要

発行体	米州開発銀行（IDB）
格付	ムーディーズ：Aaa S&P：AAA
起債通貨	米ドル
発行総額	5億米ドル
発行日	2014年9月25日
償還日	2018年9月25日
購入額面	10百万米ドル
主幹事	Citi, 大和証券キャピタル・マーケット・ヨーロッパ・リミテッド

2. 「EYEボンド」とは

米州開発銀行のEYEボンド・プログラムの各プロジェクトに充当されることを目的として発行される債券であり、米州開発銀行の適格EYE（Education:教育・Youth:若年・Employment:雇用）プロジェクト向け融資の資金調達を行います。

米州開発銀行は人的資本の形成に関し、幼年期の保育から正規の小・中・高等学校教育、更に、職業訓練を通じ学校から職場への移行を容易にするための就労支援プログラムまでを網羅する「ライフサイクル・アプローチ」を採用しています。かかるアプローチにより、米州開発銀行は、幾つかの重要な介入の段階を通じて青少年の社会参加を促進させ、中南米・カリブ海地域（LAC）諸国の生産性を向上させることに寄与します。

教育：米州開発銀行はLAC諸国の児童・青少年に対する効果的な教育と学習を支援し、高い教育水準の促進、幼年期の発達と就学準備への投資、教育者の研修の促進、適切な学習資源の確保、

学校インフラの改善、学業修了者に対する雇用・ライフスキルの提供等を行います。

若年層支援：米州開発銀行による介入は、幼年期の保育から青少年向けプログラムまでを通じて人的資本の形成を促進することを目的としており、実用的なライフスキルの取得を通じ、個人のみならず社会全体に経済的・社会的ダメージを与える危険性の高い行為に青少年が関与する可能性を低減させます。

雇用支援：雇用支援関連のプロジェクトは、就労機会の改善と職能の開発を目的とする政策の策定、実施、評価を支援します。米州開発銀行が支援するプロジェクトはまた、社会保障の対象範囲や持続可能性を改善するかたわら、効率性や生産性を高めます。

また、米州開発銀行において初の EYE（教育・若年層支援・雇用支援）ボンドとなります。

3. 「EYEボンド」を取扱う意義

中国銀行では、債券投資を通じて、中南米・カリブ海地域（LAC）諸国での教育・若年層支援・雇用支援プログラムに貢献するという趣旨に賛同し、今回の取組みを決定しました。

米州開発銀行 総裁 のルイス・アルベルト・モレノ氏は次のように述べています。

「EYE ボンドは、中南米・カリブ海地域での優先度の高い3つの分野に対しさらなる資金をもたらすとともに、これらの分野に対する認識を促進するように設計された革新的な債券です。EYE ボンドへの投資によって手当てされるプロジェクトは、子どもの教育の質を向上させるとともに、生産性を高め、就業する青少年のスキル向上に貢献していきます。」

4. 米州開発銀行について

米州開発銀行（The Inter American Development Bank、以下「IDB」といいます）は、1959年に設立された世界で最も歴史の古い多国間地域開発金融機関です。IDBの出資国は48か国で、うち26か国が中南米・カリブ海地域の借入国、22か国が非借入加盟国です。IDBは中南米・カリブ海地域（LAC）で最大の政府系開発資金提供機関です。

以上

本プレスリリースは、いかなるIDBの証券についてのオファー又は勧誘を行うものではありません。IDBの証券にかかるオファーが行われる場合は、当該証券、その募集及びIDBに関する重要情報が記載された目論見書又はその他最終的なオファー文書により行われます。当該オファーは、適用される法律を遵守してのみ行われます。